

## 「移動する子ども」

—ことばの学びをどう支え、どう共に生きるのか



外国から来た子ども、あるいは国際結婚した両親のもと日本で生まれた子ども、そして日本国籍のある「帰国生」など、多様な子どもたちが、今、学校現場に増えています。これらの子どもに共通するのは、複数の言語の中で成長している、あるいは成長して来たという点です。大切なことは、子ども自身が複数言語と向き合う自己の確立ができるように支えることです。（お言葉より）

### 講座案内

開催日時：2019年6月29日（土） 13：30～15：30  
（受付開始13：00）

場所：仙台国際センター研修室

対象：外国の子どもたちを指導する教師、日本語講師、  
この度のテーマに関心のある方々

定員：70名（先着順）

参加費：ICAS会員、賛助会員300円 一般500円 当日いただきます

**お申込み・お問合せ：** アイカス研修担当 昆野(こんの)

メール：hirokotoko1003☆yahoo.co.jp

（☆を@に変えてお申込み・お問合せください）

◎お名前・ご住所・電話番号・ご所属をお知らせください。

◎いただいた個人情報はこの講座実施のためにのみ使用します。

主催：NPO法人アイカス国際都市仙台を支える市民の会(ICAS)  
協力：公益財団法人仙台観光国際協会(SenTIA)

### 講師紹介



川上郁雄 先生

早稲田大学大学院  
日本語教育研究科教授。  
専門は日本語教育、文  
化人類学。博士(文学)

オーストラリア・クイ  
ンズランド州教育省日本  
語教育アドバイザー、宮  
城教育大学教授を経て、  
現職。文部科学省「JSL  
カリキュラム」開発委員、  
同省「定住外国人の子  
どもの教育等に関する政策  
懇談会」委員を務める。

編著書に『私も「移動す  
る子ども」だった — 異  
なる言語の間で育った  
子どもたちのライフス  
トーリー』（くろしお  
出版）他多数。